

第174回 伊丹市内企業の景気動向調査

<調査対象>

伊丹市内の主要企業150社

<調査方法>

郵送によるアンケート調査方式

<比較方法>

景気動向については「直前期」、経営動向については原則として「前年同期」と比較

<有効回答数>

150社中 82社 （一般35、食料品工業5、商業11、建設業12、運輸業12、サービス業7） 回答率54.6%

<調査期間>

令和6年6月上旬～令和6年6月14日

<調査対象期間>

令和6年4～6月期

調査結果

〔伊丹市内企業の経営動向について〕

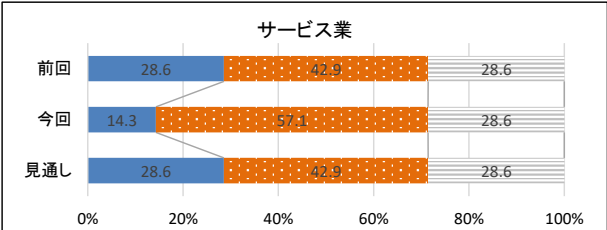
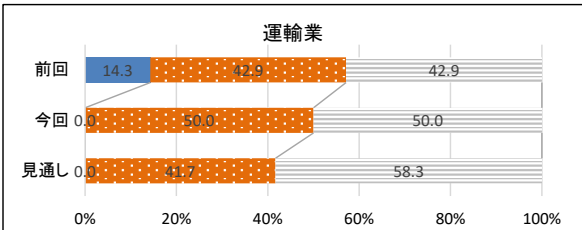
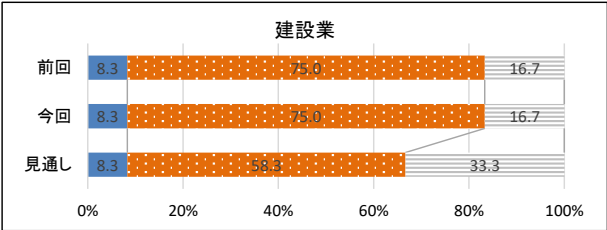
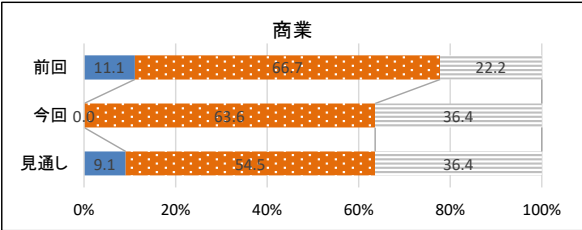
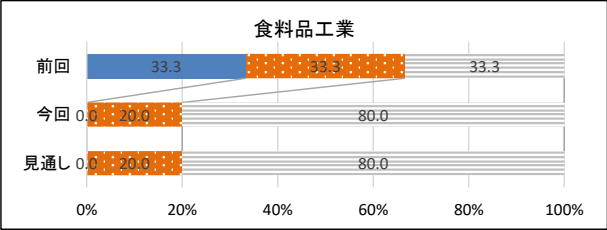
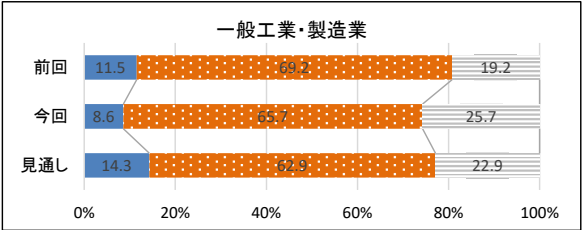
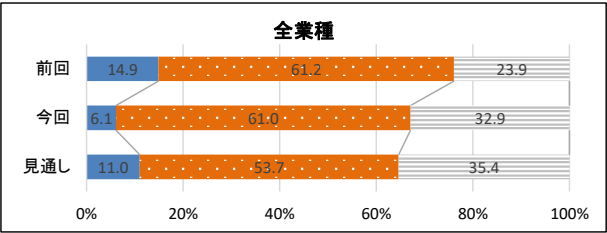
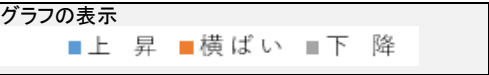
産業別DI(景気動向指数)とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向(増加・好転など)の回答割合からマイナス傾向(減少・悪化など)の回答割合を差し引いたもの。

景況天気図			
	晴れ(好調)	曇り	雨(不振)
DI値	+30	+10	▲10

全業種	業況	売上	採算	仕入単価	従業員
全業種	▲35.4	▲14.6	▲34.1	▲54.9	不足 19.5
一般工業	▲22.9	2.9	▲20.0	▲45.7	丁度 5.7
食料品工業	▲80.0	▲60.0	▲80.0	▲80.0	かなり不足 40.0
商業	▲45.5	▲45.5	▲36.4	▲36.4	丁度 9.1
建設業	▲33.3	▲8.3	▲25.0	▲58.3	かなり不足 58.3
運輸業	▲66.7	▲41.7	▲83.3	▲75.0	かなり不足 33.3
サービス業	0.0	14.3	0.0	▲71.4	丁度 0.0

〔伊丹市内企業の景気動向について〕

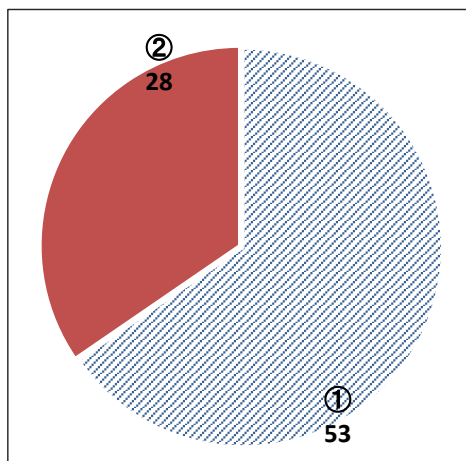
今回の調査結果(回答82社)によると、令和6年4～6月期の景気実績は「上昇」回答6.1%(前回14.9%)、「下降」回答32.9%(前回23.9%)、景気見通しは、「上昇」回答11%、「下降」回答35.4%となった。



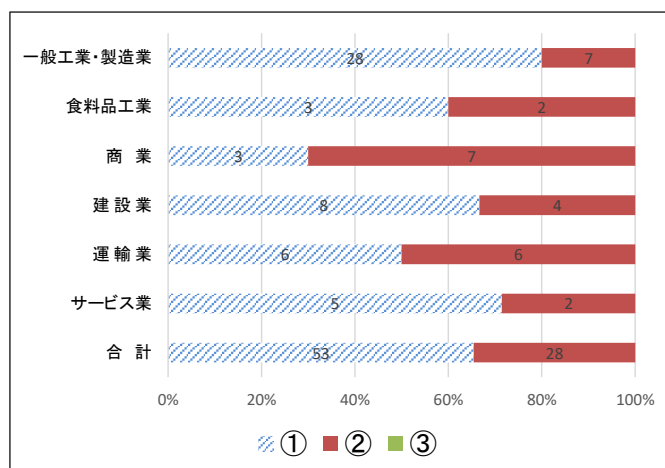
4-1. 昨年度(令和5年4月～令和6年3月)採用活動を実施されましたか？

回答：①実施した
②実施していない

<全体>



<業種別>



4-2. (段間で1「実施した」と回答した方のみ)採用計画の達成度はどの程度でしたか？

	合計	サービス業	運輸業	建設業	商業	食料品工業	一般工業・製造業
① 0-25%	17	1	3	4	2	0	7
② 26%-50%	7	1	2	1	1	1	1
③ 51-75%	9	0	1	2	0	2	4
④ 76%-100%	14	2	0	1	0	0	11

ご意見等記入欄

・物価エネルギーと円安でサラリーマンの収入が実質賃金の下落で消費の節約が進んでいる。4万円の減税より円高と賃金のアップが必要でいつまで続くのか不安である